2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823001	情報リテラシー Information literacy	村上拓也・山田麻由		専門	2	必修	1前期

科目の概要

テクノロジーの進化・発展がめざましい昨今、様々な恩恵が私たちにもたらされると同時に、ネット上にはフェイクニュースや誹謗中傷で溢れ返っている。IT機器の活用やSNSでのコミュニケーションが常態化した私たちには、情報を収集する力・見極める力・発信する力など様々なスキルが求められている。この講義では、PC・スマホ・タブレット端末の基本操作や、インターネットの基礎知識、検索スキル、躍進するAI技術が孕む倫理的問題などを学ぶ。
情報化社会を生きていく上で必須となる情報リテラシーを修得し、様々なICT機器やオンラインサービスを活用することで社会課題に対応できる能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 情報化社会の状況について調べ、日常の生活との関わりについて理解する。 ② 情報化が社会や文化に及ぼす影響について理解する。 ③ 情報技術の発達による利点と問題点を調べ考察する。 ④ 情報セキュリティについて、技術的な面と個人でできる防犯対策を理解する。 ⑤ 著作権をはじめとする知的財産権について理解する。 ⑥ フェイクニュースやネット犯罪について、データに基づいて理解する。	① 「情報化社会」とはどのような社会かを知り、日常生活との関りを理解することができる。 ② 情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解することができる。 ③ 情報技術の利点と問題点を調べ考察し、理解することができる。 ④ 情報セキュリティについて学ぶことにより、技術的な防犯対策を理解し日常の生活で役立たせることができる。 ⑤ 著作権をはじめとする知的財産権について理解することができる。 ⑥ フェイクニュースやネット犯罪の事例を基に、情報倫理問題を理解し自分の身を守ることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。
	情況把握力	
	規律性	無断欠席や遅刻をせず、開始5分前には着席し授業が円滑に進行するように準備できる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。

テキスト及び参考文献

テキストはなし。毎授業後、Google ClassroomにPDF資料をアップする。
参考文献：メディアリテラシー 吟味思考(クリティカルシンキング)を育む（時事通信社）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「デジタルコンテンツ」
資格との関連：情報処理士・ウェブデザイン実務士・上級秘書士（メディカル秘書）

学修上の助言	受講生とのルール
情報に関わる事柄について、インターネットやSNS、テレビ、書籍など、常に新しい情報をチェックし、社会問題に関心を持ち、それらが自身の生活にどのような影響を与えているか考えてみましょう。	授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられること。 予習・復習をする時間をとること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	① ⑥ ② ③ ④ ⑤	
学修成果	平常評価	小テスト	30	① ⑥ ② ③ ④ ⑤	中間テスト ・Google Formsやドキュメントシートなどを用いて行います。 ・スマホ、タブレット端末、ノートPC持ち込み可。 ・第1回目〜回目までの内容を出題します。
学修成果	平常評価	レポート	60	① ⑥ ② ③ ④ ⑤	最終テスト ・Google Formsやドキュメントシートなどを用いて行います。 ・スマホ、タブレット端末、ノートPC持ち込み可。 ・第1回目〜14回目までの内容を出題します。
学修成果	平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	① ⑥ ② ③ ④ ⑤	
学修行動	平常評価	社会人基礎力（学修態度）	10	① ⑥ ② ③ ④ ⑤	・やむを得ない事情がない限り、遅刻・欠席をしないよう心がけること ・欠席した場合はフォロー課題に取り組むこと ・IT機器の持ち込みを可とするが、授業に関係ない操作は行わないこと（特に、LINEやTwitter、TikTok、Instagram、YouTubeなどのSNSは指示がない限り触らないようにする） ・提出物の期限を守ること
総合評価割合			100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ①「情報化社会」とはどのような社会かを知り、理解できている。 ②情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解できている。 ③情報技術の利点と問題点を調べ考察できている。 ④情報セキュリティについて、技術的な防犯対策を理解できている。 ⑤著作権をはじめとする知的財産権について理解できている。 ⑥フェイクニュースやネット犯罪の事例を基に、情報倫理問題が理解でき、どのようにすれば自分の身を守ることができるのか具体策が考えられている。 ⑦学習態度にある７項目が達成できている。 A（優）評価 上記項目①②③④⑥が理解できている。⑦の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む６項目が達成できている。	B（良）評価 ①「情報化社会」とはどのような社会かを知り、理解できている。 ②情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解できている。 ④情報セキュリティについて、技術的な防犯対策を理解できている。 ⑥フェイクニュースやネット犯罪の事例を基に、情報倫理問題が理解でき、どのようにすれば自分の身を守ることができるのか具体策が考えられている。 ⑦学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む５項目が達成できている。 C（可）評価 上記項目①⑥が理解できている。⑦の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む４項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション〜コンピュータの基礎知識	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いて基本的な使い方をレクチャーする。	コンピュータの基本的な構成を理解できる。PC・スマホ・タブレットを用いてClassroomを活用することができる。	（予習）ClassroomとGoogle Formsの使い方を調べる。 （復習）他の授業でClassroomを活用		主体性 傾聴力 規律性
2	ネットワークの仕組み	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いて学んだことを実践する。	ネットワークについて理解し、大学PCの構成を理解できる。	（予習）事前に提示されたGoogle Classroomに回答する。 （復習）大学PCの構成と学内ネットワークを確認する。		主体性 傾聴力 規律性
3	情報リテラシーの定義〜フィルターバブルとエコーチェンバー	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートを提出する。	情報リテラシーの定義を理解できる。フィルターバブルとエコーチェンバーについて説明できる。	（予習）フィルターバブルとエコーチェンバーの意味を調べておく。 （復習）よく利用するSNSに上がってくる情報の傾向やジャンルについて確認する。		主体性 発信力 傾聴力 規律性
4	リアルとフェイク〜情報の真偽を確かめよう	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートを提出する。	フェイクニュースを見分けるためのポイントを理解できる。	（予習）事前に提示された写真および動画の真偽を判断し、Google Formsに回答する。 （復習）授業中に提示された課題に取り組み、次回授業にデータを持参する。		主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	問題解決のための思考法①〜根拠を示しながら主張する	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力する。	論理的思考とは何か理解できる。提示されたテーマに対して自分の意見を記述することができる。	（予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）授業内で紹介したフレームワークについて確認する。		主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	問題解決のための思考法②〜事例をもとに考えよう	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力する。	実際に起きたネットにおける炎上事例に関心を持ち、それに対する自分の意見を記述することができる。	（予習）前回のスライドを確認する。 （復習）他の受講者のコメントシートを読む。		主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	進化するテクノロジーと倫理的課題	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。映像鑑賞。	AIがもたらす恩恵と問題点について理解できる。	（予習）AIの活用事例を調べておく。 （復習）自身の生活に導入できそうなAIを探して活用してみる。		主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	中間テスト・記述課題	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてテストに取り組む。 テストはGoogle Forms、記述課題はドキュメントシートに入力する。	第1回目〜7回目の内容が理解できている。PC・スマホ・タブレットを使ってテストに回答することができる。	（予習）第1回目〜7回目の資料を読み込んでおく。Google Formsとドキュメントシートへの入力方法について確認する。 （復習）テストで不正解だったところについて調べておく。他の受講者の記述課題に目を通す。		主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	中間テスト・記述課題の解説とレビュー	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	第1回目～7回目の内容を理解し、実生活において活用できる。 他者の意見を聞いて自分の意見を更に深めることができる。	（予習）他の受講者の記述課題に目を通す。 （復習）授業を通して感じたこと・気付いたことを言語化しまとめておく。		主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	情報セキュリティ①～個人編	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	個人情報の概要、アカウントの保護、メールやメッセージを利用した詐欺行為、SNSを利用する際の注意について理解できる。	（予習）ネットセキュリティに関するトラブルについて、具体的な事例を調べておく。 （復習）授業で紹介した対策の中で、知らなかったこと・取り入れた方が良いと感じたことを実践する。		主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	情報セキュリティ②～組織編	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	機密情報の取り扱い、ヒューマンエラー、コンピュータウイルスについて理解できる。	（予習）ネットセキュリティに関するトラブルについて、具体的な事例を調べておく。 （復習）授業で紹介した対策の中で、知らなかったこと・取り入れた方が良いと感じたことをピックアップする。		主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	知的財産権と産業財産権	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	知的財産権と産業財産権の概要について理解できる。	（予習）知的財産権と産業財産権について、概要を調べておく。 （復習）授業で提示されたGoogle Formsに回答する。		主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	著作権について知ろう	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	著作権の概要と著作権侵害について理解できる。	（予習）著作権が侵害された事例を調べ、ドキュメントシートにまとめる。 （復習）授業で紹介する著作権侵害事例の中で、自身に当てはまるものはないか確認し、改善する。		主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	最終テスト・記述課題	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてテストに取り組む。 テストはGoogle Forms、記述課題はドキュメントシートに入力する。	13回分の内容が理解できている。PC・スマホ・タブレットを使ってテストに回答することができる。	（予習）13回分の資料を読み込んでおく。Google Formsとドキュメントシートへの入力方法について確認する。 （復習）テストで不正解だったところについて調べておく。他の受講者の記述課題に目を通す。		主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	最終テスト・記述課題の解説とレビュー	講義・演習 座学の後、自身のPC・スマホ・タブレットを用いてコメントシートに入力。	本講義が取り扱う内容を理解し、実生活において活用できる。 他者の意見を聞いて自分の意見を更に深めることができる。	（予習）他の受講者の記述課題に目を通す。 （復習）本講義を通して感じたこと・気付いたことを言語化しまとめておく。		主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力